

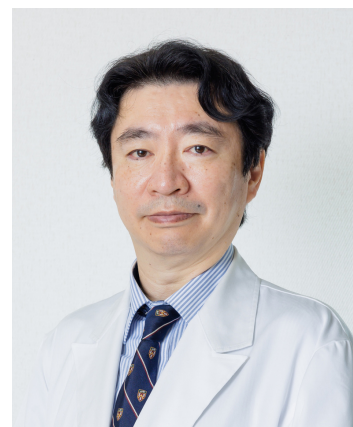
脳神経外科



診療科紹介 HP

ご挨拶

脳神経外科は「脳と神経」の外科であり、当科では脳、脊髄、末梢神経に至るまで、脳と神経に関連するすべての領域の外科治療を行っています。脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷、脊髄外科、小児脳神経外科、機能脳神経外科の6領域について最先端の脳神経外科医療を提供しています。地域の医療機関と連携しながら、一人でも多くの患者さんの生命を救い、患者さんの生活の質を高めていきます。



診療部長
村田 英俊（主任教授）

診療科の特色

当病院では、新生児から高齢者まで、生命に関わる疾患（くも膜下出血や脳腫瘍など）から生活の質を高める治療（てんかんや不随意運動の治療）まで指導医、エキスパートを擁し、全ての脳神経外科疾患の専門治療を行っております。

また、脳卒中センター、内分泌疾患センター、てんかんセンター、パーキンソン病治療センター、総合母子周産期医療センター、こどもセンターと共に横断的診療連携体制を整えています。

当科の治療方針

「最先端医療を駆使して
低侵襲手術・機能温存治療を行う」

脳神経外科疾患においてお困りのことがありましたら、いつでもご相談ください。

24時間、365日 対応致します

患者さんのご紹介について



聖マリアンナ医科大学病院
ST. MARIANNA UNIVERSITY HOSPITAL



044-975-0608



044-977-8111（代表）



聖マリアンナ医科大学病院
患者さんのご紹介について

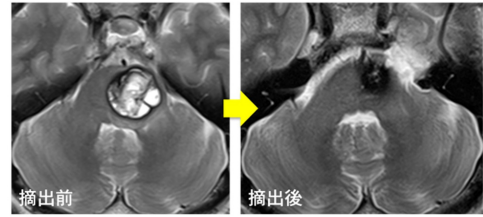
紹介受付時間：平日 8：30～15：00

土曜 8：30～11：00

お問い合わせ先：メディカルサポートセンター

主な対象疾患

- ◆**悪性脳腫瘍** (神経膠腫 (グリオーマ)、転移性腫瘍)
- ◆**良性脳腫瘍** (髄膜腫、下垂体腺腫、聴神経腫瘍、松果体部腫瘍)
- ◆**くも膜下出血、脳出血**
- ◆**脳動脈瘤、頸動脈狭窄症**
- ◆**脳・脊髄 海綿状血管奇形**
- ◆**頭部外傷**
- ◆**脊髄疾患** (腫瘍、血管障害、変性疾患、奇形、脊髄空洞症、頭蓋頸椎移行部)
- ◆**水頭症、先天性奇形**
- ◆**三叉神経痛・顔面痙攣**
- ◆**難治性てんかん**
- ◆**運動症異常症** (パーキンソン病、ジストニア、本態性振戦)



脳幹部海綿状血管奇形に対する頭蓋底技術を用いた摘出

主な手術のお知らせ

◆未破裂動脈瘤血管内コイル塞栓および開頭手術クリッピング

所要日数：コイル塞栓術 7日間、開頭術 約10日間

くも膜下出血の予防的治療で、動脈瘤の形状により、開頭クリッピングもしくは血管内治療を選択します。

◆脳血行再建術

所要日数：2週間

もやもや病等の脳虚血発症を予防する目的で血行再建術を行います。

◆脳腫瘍摘出術 (髄膜腫・聴神経腫瘍・下垂体神経内分泌腫瘍など)

所要日数：約2週間

腫瘍摘出に際し、しばしば頭蓋底技術や内視鏡技術を用いて治療します。

◆脊髄腫瘍

所要日数：髄内のもの 2週間、髄外のもの 7日-10日

脊髄損傷は最も精緻なマイクロ技術が要求されますが、神経機能を維持した摘出が可能となっています。

◆てんかん手術 (VNS設置術含む)

所要日数：4日間

てんかん発作の消失または低減を目指します。

持続脳波検査を行い、てんかんの形や側法性を診断します。

◆不随意運動脳深部刺激装置設置術 (DBS設置術)

所要日数：1ヶ月

脳の深部に電極を設置し刺激することで、ふるえ症状の改善をめざします。

(1) 脳腫瘍、(2) 脳血管障害、(3) 機能的疾患、(4) 脊髄外科、(5) 頭部外傷、
(6) 小児先天奇形を中心に年間約600件の手術を行っております。